



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月12日
福

上場会社名 大石産業株式会社 上場取引所
 コード番号 3943 URL <http://www.osk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久継 雅夫
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 田中 英雄 TEL 093-661-6511
 定時株主総会開催予定日 2021年6月24日 配当支払開始予定日 2021年6月10日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	18,595	△2.9	1,212	21.5	1,404	18.3	946	14.3
2020年3月期	19,145	1.9	997	31.3	1,187	25.7	827	43.4

(注) 包括利益 2021年3月期 1,156百万円 (79.9%) 2020年3月期 642百万円 (62.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	245.23	—	6.6	6.3	6.5
2020年3月期	214.49	—	6.1	5.5	5.2

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 1百万円 2020年3月期 3百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	22,493	14,738	65.4	3,808.44
2020年3月期	21,959	13,798	62.7	3,571.31

(参考) 自己資本 2021年3月期 14,701百万円 2020年3月期 13,766百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	1,680	△416	△336	6,831
2020年3月期	2,166	△1,343	△329	5,909

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	27.00	—	31.00	58.00	229	27.0	1.7
2021年3月期	—	28.00	—	30.00	58.00	229	23.7	1.6
2022年3月期(予想)	—	29.00	—	29.00	58.00		21.2	

(注) 2020年3月期期末配当金の内訳 普通配当 29円00銭 上場40周年記念配当 2円00銭

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	9,346	2.9	520	△4.6	627	4.2	440	7.0	114.15
通 期	19,841	6.7	1,266	4.5	1,472	4.8	1,054	11.4	273.16

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期	4,664,000株	2020年3月期	4,664,000株
----------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2021年3月期	803,713株	2020年3月期	809,279株
----------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数

2021年3月期	3,859,469株	2020年3月期	3,860,144株
----------	------------	----------	------------

※ 期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行（信託口）の保有する当社株式（2021年3月期 92,384株、2020年3月期 98,000株）が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2021年3月期 93,248株、2020年3月期 98,000株）。

（参考）個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	16,324	△2.3	1,094	23.3	1,344	18.4	926	14.8
2020年3月期	16,702	△1.3	888	37.4	1,135	26.6	807	34.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
2021年3月期	円 銭 240.15	円 銭 —
2020年3月期	209.13	—

（2）個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	
2021年3月期	19,842	13,852	13,852	12,979	69.8	3,588.50	
2020年3月期	18,999	12,979	12,979	12,979	68.3	3,367.21	

（参考）自己資本 2021年3月期 13,852百万円 2020年3月期 12,979百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(持分法を適用した関連会社の状況)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(会計方針の変更)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. その他	16
役員の異動	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、個人消費が持ち直しつつあるものの、新型コロナウイルス感染症の拡大により企業収益の低下や雇用環境の悪化が続いており、厳しい状況で推移しました。また、国内外で段階的な経済活動再開の動きもありますが、新型コロナウイルスの波動的な流行拡大もあり、依然として先行きは厳しく不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは「TPS（トータル・パッケージング・ソリューション）提案」により顧客満足を徹底的に追求するとともに、全社をあげてイノベーション活動に取り組み、業績向上に努めてまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は、フィルム部門及び昨年第2四半期から連結子会社化した柳沢製袋株式会社の売上により国内重包装袋部門が増収となりましたが、海外部門、パルプモールド部門、段ボール部門の減収により、185億95百万円（前連結会計年度比2.9%減）となりました。営業利益は12億12百万円（同21.5%増）、経常利益は14億4百万円（同18.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は9億46百万円（同14.3%増）となりました。増益の主な要因は、フィルム部門の増収効果やパルプモールド及び段ボール部門における収益改善効果、M&A関連費用やコロナ禍において販売費及び一般管理費が減少したことによるものです。

セグメントの業績は次のとおりです。

(緩衝機能材事業)

パルプモールド部門は、工業品分野では事務機器向けの需要減による減収はありましたが、テイクアウト需要増により持ち帰り用トレーが需要増となり増収となりました。畜産物分野は新型コロナウイルス感染症の影響で業務用鶏卵トレーが数量減となり、減収となりました。青果物分野では、トマト向けが好調でしたが、梨向けが天候不順の影響により減収となり、パルプモールド部門の売上高は47億39百万円（前連結会計年度比1.3%減）となりました。

段ボール部門は、工業分野が順調に推移しましたが、農業分野が天候不順の影響により減収となり、売上高は30億63百万円（前連結会計年度比0.6%減）となりました。

成型部門は、巣籠り需要もあり、売上高は従来の宙吊り式包装容器（ゆりかご）とあわせて8億52百万円（前連結会計年度比2.1%増）となりました。

その結果、当事業の売上高は86億56百万円（前連結会計年度比0.8%減）となり、セグメント利益は10億59百万円（同10.1%増）となりました。

(包装機能材事業)

フィルム部門は、食品容器用フィルムが新機能フィルムの開発やコロナ禍における巣籠り需要増により増収、工業品分野向けキャストフィルムも新需要を取り込んだ結果、好調で増収となり、売上高は38億82百万円（前連結会計年度比3.1%増）となりました。

重包装袋部門は、国内は、新型コロナウイルス感染症の影響により、合成樹脂・化学薬品向けで減収となりましたが、昨年第2四半期から連結子会社化した柳沢製袋株式会社の売上により増収となりました。海外部門は、新型コロナウイルス感染症に伴うマレーシア政府の活動制限令発令の影響に加えて、合成樹脂・化学薬品向けの需要減により減収となり、重包装袋部門の売上高は56億73百万円（前連結会計年度比7.8%減）となりました。

その結果、当事業の売上高は95億55百万円（前連結会計年度比3.7%減）となり、セグメント利益は9億73百万円（同6.2%増）となりました。

(その他)

売上高は3億83百万円（前連結会計年度比23.6%減）となり、セグメント利益は18百万円（同65.3%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べて5億34百万円増加し、224億93百万円となりました。流動資産については、現金及び預金、電子記録債権の増加等により、前連結会計年度末に比べて6億16百万円増加しております。固定資産については、有形固定資産の減少等により、前連結会計年度末に比べて82百万円減少しております。

当連結会計年度末における負債合計は77億55百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億4百万円の減少となりました。流動負債については、支払手形及び買掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べて1億95百万円減少しております。固定負債については、長期借入金、退職給付に係る負債の減少等により、前連結会計年度末に比べて2億9百万円減少しております。

当連結会計年度末における純資産合計は147億38百万円となり、前連結会計年度末に比べて9億39百万円の増加となりました。これは、利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末より9億22百万円増加し、当連結会計年度末には68億31百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られた資金は、16億80百万円（前期比4億86百万円の減少）となりました。主な収入項目は、税金等調整前当期純利益13億96百万円、減価償却費6億80百万円、主な支出項目は、法人税等の支払額4億26百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、4億16百万円（前期比9億27百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3億62百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用した資金は、3億36百万円（前期比7百万円の増加）となりました。これは主に、配当金の支払額2億32百万円等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率	62.9	64.0	63.7	62.7	65.4
時価ベースの自己資本比率	37.9	41.9	27.0	26.6	31.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.7	0.8	1.0	0.5	0.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ	39.1	33.8	24.1	44.0	50.9

- ・自己資本比率：自己資本／総資産
- ・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産
- ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式を除く）により算出しております。

3. 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている短期借入金、長期借入金（1年以内返済分を含む）を対象としております。なお、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

（4）今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により、世界経済全体の先行きは不透明であり、また、日本国内においても個人消費の落ち込み、企業収益の悪化等により厳しい状況が続くものと推測されます。

このような状況下、当社グループは販売、製造部門のイノベーション活動の展開を更に活発化するとともに、新製品の開発推進、品質改善活動や原価低減に取り組み、業績向上に努めてまいります。

主な重点課題として以下の3点に取り組みます。

- ① SDGs理念に合致した製品の開発
- ② IoTなどのDX（デジタル・トランスフォーメーション）技術の積極的な活用
- ③ T P S（トータル・パッケージング・ソリューション）の推進

なお、来期における製品セグメント別の主な取り組みは以下のとおりであります。

- 1) 緩衝機能材事業
 - ・脱プラスチック社会に向けたパルプモールド需要の創造
 - ・顧客や地域社会との協働による資源ゴミとしての古紙回収
 - ・新生産方法の研究による生産性改善の強化
 - ・最適生産体制の確立と物流コスト削減による収益力強化
- 2) 包装機能材事業
 - ・新機能・高付加価値製品の開発
 - ・環境に配慮したフィルム製品の開発
 - ・検査ラインの自動化による、品質・生産性の強化および再構築
 - ・グループ全体によるシナジーの追求

次期業績は、売上高198億41百万円（前期比6.7%増）、営業利益12億66百万円（前期比4.5%増）、経常利益14億72百万円（前期比4.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益10億54百万円（前期比11.4%増）を予測しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成いたしますが、国際会計基準（IFRS）の適用については、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,128,694	7,053,667
受取手形及び売掛金	4,088,848	4,010,604
電子記録債権	542,364	595,984
商品及び製品	950,439	891,241
仕掛品	143,619	126,203
原材料及び貯蔵品	934,575	811,573
その他	309,030	225,197
貸倒引当金	△16,372	△16,542
流動資産合計	13,081,201	13,697,931
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,694,477	2,650,581
機械装置及び運搬具（純額）	2,094,075	1,830,820
土地	1,748,960	1,748,960
リース資産（純額）	263,777	233,284
建設仮勘定	68,550	186,099
その他（純額）	122,143	99,612
有形固定資産合計	6,991,985	6,749,358
無形固定資産		
127,106		166,301
投資その他の資産		
投資有価証券	918,588	1,175,528
長期貸付金	106,312	83,501
繰延税金資産	468,091	378,760
その他	273,944	250,243
貸倒引当金	△8,206	△8,129
投資その他の資産合計	1,758,731	1,879,905
固定資産合計	8,877,823	8,795,565
資産合計	21,959,024	22,493,497

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,745,972	1,503,328
電子記録債務	1,684,430	1,630,466
短期借入金	813,119	780,985
リース債務	25,376	22,096
未払法人税等	270,705	247,630
未払消費税等	96,481	170,327
賞与引当金	233,938	242,441
設備関係電子記録債務	76,814	173,285
その他	1,021,663	1,002,273
流動負債合計	5,968,502	5,772,834
固定負債		
長期借入金	259,264	159,321
リース債務	147,133	126,915
繰延税金負債	105,397	141,754
役員株式給付引当金	32,190	36,317
退職給付に係る負債	1,432,830	1,336,453
その他	214,810	181,620
固定負債合計	2,191,627	1,982,382
負債合計	8,160,129	7,755,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	466,400	466,400
資本剰余金	416,991	416,991
利益剰余金	14,290,380	15,008,288
自己株式	△1,072,231	△1,061,988
株主資本合計	14,101,540	14,829,691
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	126,350	313,412
為替換算調整勘定	△346,435	△371,465
退職給付に係る調整累計額	△115,067	△69,950
その他の包括利益累計額合計	△335,152	△128,003
非支配株主持分	32,507	36,592
純資産合計	13,798,895	14,738,279
負債純資産合計	21,959,024	22,493,497

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	19,145,183	18,595,354
売上原価	15,059,280	14,450,527
売上総利益	4,085,903	4,144,827
販売費及び一般管理費	3,088,517	2,932,728
営業利益	997,385	1,212,099
営業外収益		
受取利息	2,141	1,600
受取配当金	23,976	25,051
受取賃貸料	190,836	190,836
その他	90,042	73,357
営業外収益合計	306,997	290,845
営業外費用		
支払利息	49,257	33,012
不動産賃貸費用	15,109	14,547
売上割引	3,770	4,904
デリバティブ評価損	24,065	6,186
為替差損	8,844	4,291
その他	15,665	35,008
営業外費用合計	116,712	97,951
経常利益	1,187,669	1,404,993
特別利益		
固定資産売却益	60,615	1,148
特別利益合計	60,615	1,148
特別損失		
固定資産除却損	29,383	9,689
特別損失合計	29,383	9,689
税金等調整前当期純利益	1,218,902	1,396,453
法人税、住民税及び事業税	372,529	405,717
法人税等調整額	14,127	41,545
法人税等合計	386,657	447,262
当期純利益	832,244	949,190
非支配株主に帰属する当期純利益	4,275	2,731
親会社株主に帰属する当期純利益	827,969	946,459

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	832,244	949,190
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△166,944	187,061
為替換算調整勘定	△2,965	△25,030
退職給付に係る調整額	△19,490	45,117
その他の包括利益合計	△189,399	207,148
包括利益	642,844	1,156,339
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	639,520	1,152,255
非支配株主に係る包括利益	3,323	4,084

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	466,400	416,991	13,676,492	△1,035,782	13,524,100
当期変動額					
剰余金の配当			△214,081		△214,081
親会社株主に帰属する当期純利益			827,969		827,969
持分法の適用範囲の変動					—
自己株式の取得				△36,448	△36,448
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	613,887	△36,448	577,439
当期末残高	466,400	416,991	14,290,380	△1,072,231	14,101,540

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	293,295	△343,470	△95,577	△145,752	29,184	13,407,532
当期変動額						
剰余金の配当						△214,081
親会社株主に帰属する当期純利益						827,969
持分法の適用範囲の変動						—
自己株式の取得						△36,448
自己株式の処分						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△166,944	△2,965	△19,490	△189,399	3,323	△186,076
当期変動額合計	△166,944	△2,965	△19,490	△189,399	3,323	391,363
当期末残高	126,350	△346,435	△115,067	△335,152	32,507	13,798,895

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	466,400	416,991	14,290,380	△1,072,231	14,101,540
当期変動額					
剰余金の配当			△233,210		△233,210
親会社株主に帰属する当期純利益			946,459		946,459
持分法の適用範囲の変動			4,659		4,659
自己株式の取得				△90	△90
自己株式の処分				10,333	10,333
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	717,907	10,243	728,150
当期末残高	466,400	416,991	15,008,288	△1,061,988	14,829,691

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	126,350	△346,435	△115,067	△335,152	32,507	13,798,895
当期変動額						
剰余金の配当						△233,210
親会社株主に帰属する当期純利益						946,459
持分法の適用範囲の変動						4,659
自己株式の取得						△90
自己株式の処分						10,333
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	187,061	△25,030	45,117	207,148	4,084	211,233
当期変動額合計	187,061	△25,030	45,117	207,148	4,084	939,383
当期末残高	313,412	△371,465	△69,950	△128,003	36,592	14,738,279

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,218,902	1,396,453
減価償却費	754,329	680,064
のれん償却額	9,203	12,270
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,226	93
賞与引当金の増減額(△は減少)	14,264	8,503
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△27,982	△31,543
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	7,946	14,460
受取利息及び受取配当金	△26,118	△26,651
支払利息	49,257	33,012
デリバティブ評価損益(△は益)	24,065	6,186
為替差損益(△は益)	△13,536	△4,733
固定資産売却損益(△は益)	△60,615	△1,148
固定資産除却損	29,383	9,689
投資有価証券評価損益(△は益)	3,111	3,956
売上債権の増減額(△は増加)	444,720	2,841
たな卸資産の増減額(△は増加)	116,330	181,682
仕入債務の増減額(△は減少)	△91,977	△254,480
その他	△59,077	82,277
小計	2,389,978	2,112,933
利息及び配当金の受取額	26,118	26,651
利息の支払額	△49,257	△33,012
法人税等の支払額	△200,210	△426,438
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,166,628	1,680,133
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△284,501	△187,300
定期預金の払戻による収入	177,300	184,501
有価証券の売却による収入	50,000	—
有形固定資産の取得による支出	△929,670	△362,891
有形固定資産の除却による支出	△15,843	△8,538
有形固定資産の売却による収入	96,897	1,148
無形固定資産の取得による支出	△1,811	△70,498
投資有価証券の取得による支出	△12,370	△6,415
投資有価証券の売却による収入	43,500	406
持分法適用範囲の変更を伴う関連会社株式の売却による収入	—	10,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△489,622	—
貸付けによる支出	△50	△304
貸付金の回収による収入	23,974	23,151
その他	△1,615	520
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,343,812	△416,219

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△78,960	55,924
長期借入れによる収入	184,240	—
長期借入金の返済による支出	△173,547	△147,742
自己株式の取得による支出	△36,448	△90
配当金の支払額	△212,220	△232,407
その他	△12,077	△12,514
財務活動によるキャッシュ・フロー	△329,014	△336,830
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,109	△4,908
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	485,691	922,174
現金及び現金同等物の期首残高	5,423,501	5,909,193
現金及び現金同等物の期末残高	5,909,193	6,831,367

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（持分法を適用した関連会社の状況）

・持分法を適用した関連会社：無

ワイケー・パッケージング株式会社は、株式の売却により関連会社ではなくなったため、当連結会計年度末に持分法適用の範囲から除外しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（追加情報）

（取締役に対する株式報酬制度）

当社は、当社の取締役（社外取締役を除く。）に対し、信託を用いた株式報酬制度（以下、「本制度」という。）を導入しております。

（1）本制度の概要

本制度は、当社が金員を拠出することにより設定する信託（以下、「本信託」という。）が当社株式を取得し、取締役に対して、当社が定める株式交付規程に従って付与されるポイント数に応じ、当社株式が本信託を通じて交付される株式報酬制度であります。なお、取締役が当社株式の交付を受ける時期は、原則として取締役の退任時であります。

（2）信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用を除く。）により純資産の部に自己株式として計上しております。前連結会計年度末の当該自己株式の帳簿価額は180,320千円、株式数は98,000株、当連結会計年度末の当該自己株式の帳簿価額は169,986千円、株式数は92,384株であります。

（新型コロナウイルス感染症に伴う会計上の見積りについて）

新型コロナウイルス感染症は企業活動に広範な影響を与える事象であることから、当社グループでは外部の情報源に基づく情報等を踏まえて、今後2022年3月期の一定期間にわたり当該影響が継続するとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性の判断及び固定資産の減損に関する判断等について会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービス別に包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、「緩衝機能材事業」及び「包装機能材事業」の2つを報告セグメントとしております。

「緩衝機能材事業」は、パルプモールドや段ボール製品等、主に緩衝機能のある製品等の製造販売を行っております。「包装機能材事業」は、紙袋や樹脂製品等、主に包装機能のある製品等の製造販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

なお、報告セグメント間の取引は連結会社間の取引であり、市場価格等に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	緩衝機能材 事業	包装機能材 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,722,786	9,920,436	18,643,222	501,960	19,145,183	—	19,145,183
セグメント間の内部売上高又は振替高	18,203	5,931	24,135	152,999	177,134	△177,134	—
計	8,740,990	9,926,367	18,667,358	654,959	19,322,317	△177,134	19,145,183
セグメント利益	962,275	917,004	1,879,280	52,393	1,931,673	△934,287	997,385
セグメント資産	4,776,986	10,176,554	14,953,540	487,024	15,440,565	6,518,459	21,959,024
その他の項目							
減価償却費	309,572	402,440	712,012	2,464	714,477	39,851	754,329
のれんの償却額	—	9,203	9,203	—	9,203	—	9,203
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	176,096	651,071	827,168	4,569	831,737	50,041	881,779

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連事業、デザイン事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△934,287千円には、主にセグメント間取引消去△11,319千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△863,603千円及び子会社株式取得関連費用△61,208千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

セグメント資産の調整額6,518,459千円には、セグメント間取引に係る相殺消去等△1,377,864千円及び各報告セグメントに配分していない全社資産7,896,324千円が含まれております。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	緩衝機能材 事業	包装機能材 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,656,136	9,555,841	18,211,978	383,375	18,595,354	—	18,595,354
セグメント間の内部売 上高又は振替高	19,173	3,426	22,600	173,512	196,112	△196,112	—
計	8,675,310	9,559,268	18,234,578	556,888	18,791,467	△196,112	18,595,354
セグメント利益	1,059,909	973,597	2,033,507	18,158	2,051,665	△839,566	1,212,099
セグメント資産	4,625,450	9,782,566	14,408,016	429,949	14,837,965	7,655,531	22,493,497
その他の項目							
減価償却費	255,282	380,836	636,118	3,378	639,497	40,567	680,064
のれんの償却額	—	12,270	12,270	—	12,270	—	12,270
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	205,312	296,630	501,943	1,677	503,620	62,982	566,602

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連事業、デザイン事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△839,566千円には、主にセグメント間取引消去△13,547千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△825,696千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

セグメント資産の調整額7,655,531千円には、セグメント間取引に係る相殺消去等△1,376,800千円及び各報告セグメントに配分していない全社資産9,032,332千円が含まれております。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	3,571.31円	3,808.44円
1株当たり当期純利益	214.49円	245.23円

（注） 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	827,969	946,459
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益（千円）	827,969	946,459
普通株式の期中平均株式数（千株）	3,860	3,859

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額（千円）	13,798,895	14,738,279
純資産の部の合計額から控除する金額（千円）	32,507	36,592
（うち非支配株主持分（千円））	(32,507)	(36,592)
普通株式に係る期末の純資産額（千円）	13,766,387	14,701,687
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数（千株）	3,854	3,860

（注） 株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する「役員向け株式交付信託」の株式を「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております（前連結会計年度 98,000株、当連結会計年度 92,384株）。

また、「1株当たり当期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（前連結会計年度 98,000株、当連結会計年度 93,248株）。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

別の開示資料を御参照ください。